

平成 26 年度第 3 回平塚市博物館協議会会議録

■開催日時 平成 27 年 3 月 20 日（水）10 時～11 時 30 分

■開催場所 平塚市博物館特別研究室、特別展示室

■会議出席者（敬称略）

会 長 宮川重信

副会長 石綿進一

委 員 牧野久実、椿田有希子、岡部盛敏

事務局 後藤社会教育部長、澤村館長、縣館長代理（管理担当長）、栗山館長代理（学芸担当長）

■傍聴者 なし

■会議の概要

1 開 会

館長挨拶

2 議 事

(1) 報告事項等について

- ・平成 26 年度事業報告

秋期特別展

博物館文化祭

- ・平成 27 年度当初予算について

(2) 平成 27 年度事業予定について

(3) 春期特別展について

(4) その他

- ・事務連絡等

■議事および質疑

議題 (1) 報告事項等について

◆「平成 26 年度事業報告」で、秋期特別展「平塚の石仏－3058 の祈りと願い－」について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委 員 素晴らしいと思います。いくつか伺いたいの、30 年以上にわたってこの「石仏を調べる会」に携わってきたのは浜野学芸員ですか。

事務局 会の立ち上げは小川直之学芸員ですが、小川氏が國學院大学に移られる際に浜野学芸員に交代しました。

委員 根気よくやってこられたと思います。加えて、イブニング・ミュージアム・ウィークの講座の時間帯を、話を聞かれた後に展示を見ることができるよう30分繰り上げたりなど、こまかい気遣いでやっておられるなと思います。アンケート結果を見ても本当に良い意見が寄せられている。

展示期間中の入館者数が伸びていないということが、台風の影響かもしれないということでしたが、それ以外には何か考えられますか。他の事例に比べてとくに少なくはないようだが。

事務局 極端に少ないわけではありません。

委員 長くやってこられると、会員の中ではとても関心が高いが、外部の方はそんなに関心が高くないということがあるが、アンケート結果を見ると「すばらしかった」という意見があるので、そういうことは無いようですね。

図録はやはり会員の方々が主体で作られたのですか。

事務局 図録の原稿も会員が分担して、内容的な部分の統一を図るとかそういう点を担当の学芸員が行いました。

委員 1000部の印刷となっていますが、基本資料ということ考えるともう少し多くてもいいのかなと思います。

委員 寄贈というのがありますが、特にお寺などに働きかけているのですか。

事務局 石造物に限らず文化財は元々あったところにあるのが一番ですから、寄贈を受けるケースというのは例えば区画整理などで設置場所が無くなる場合などに、受けています。

委員 無くなるものがあるので、なるべく寄贈してもらった方がいいですね。

事務局 石仏の場合、基本的には現地にあって皆さんが信仰されている対象ですので、それを続けていただくということが私どもの基本的な姿勢です。どうしても地元で設置できない場合にご相談を受けるというスタンスです。

委員 来館者の感想を見ましたが「市民の方が手作りしているところが素晴らしい」ですとか「会の方の説明が良くまとまっていた」という意見があり、こちらの博物館が狙っている「市民とともに作り上げる」という点が来館者にも感じていただけたかなと思います。

「今後も活動成果を報告してほしい」という意見がありますが、今後はどういう形で考えているのですか。

事務局 石仏の場合、30年続けていても個人の敷地などで見落としているものがあったり、道路が変

わるなどの理由で位置が変わるなど、固定的なものではない。また、新しいものも作られている。「平塚の石仏」という資料シリーズも刊行しているが、現在改訂版を刊行している。今後も「調べる」ということは続けていくということです。

委員 素晴らしい成果なので、是非続けていただきたい。

委員 図録ですけれども、専門のスタッフが書くものと一般の方が書くものが一緒になっている場合、中身の問題があるかなと思います。内容については専門のスタッフがチェックしているのでしょうか。形に残るものですから間違いの無いように、大変だと思いますが頑張ってやっていただきたい。

委員 30年の活動の中で、このような展示を開催したことがあるのか。また、今回の展示は集大成だが、石仏を調べる会のメンバーも当初から入れ替わっているのか。そして、これからの活動へのメンバーの思いは如何か。今までどおりの活動を続けていくのか、あるいは異なる方向があるのか。

事務局 これまで博物館文化祭の場では各年度の活動を発表している。また、毎年参加者を募集して実施している石仏探訪会では、会員が解説員として活躍している。

今後の活動については、この特別展で一段落という様子はなく、会員の間でこれからの活動をどのように継続していくかを話し合っているところです。

◆「平成 26 年度事業報告」で、「第 16 回博物館文化祭－サークル活動展示・発表」について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委員 発表会で投影の機械を扱っているのを見ると、各グループとも年々精度とか見易さ、伝える力などが良くなってきている。やはり、他のグループの発表を聞いてみたりして「あそこのグループはこういうやり方をしているので、自分たちも応用して・・・」というような話も聞くので、良いと思う。一般の方も見に来ているが、展示だけを見るのとは違うらしい。

委員 アンケートの意見や感想は来た方のものですが、参加しているサークルの方々はどうに感じてらっしゃるのか。

事務局 実際にアンケートの形で文字にはしていませんが、実行委員会の反省会は開いています。

委員 では主催者側というよりは、各サークルが合同での反省会を開いているのですか。

事務局 ご指摘のとおりで、参加者側の声をまとめていないので、今度まとめてみたいと思う。

文化祭の実施がサークルの方々の負担にならないかという懸念があるのかなと思うが、実際、開催の後は「やって良かった」という感じになると思う。現実的な問題としてはこの文化祭を開くために各サークルから実行委員を一人ずつ出していただいて、実行委員会を月 1 回、

あるいは二月に1回程度のペースで開催している。そちらの方が少々負担になるという声はある。そのあたりはこれからの課題として気を付けなければならないと考えています。

◆「平成27年度当初予算」について、事務局縣管理担当長が説明。

委員 文献図書等購入費で50万ですね。学芸員すべての分の購入費ということか。これで足りるのか？

事務局 望みを言えばキリが無いことですから、各分野とも工夫をしています。

委員 年度を決めて「今年はこの分野」というふうに分けずに平等に配分しているのか。

事務局 全集物などで必要なものがある場合には学芸員の間で相談をして購入している。それ以外の場合は予算を分野で均等に配分しています。

委員 10万円ぐらい減っているが「減らせ」という指示なのか。心配してしまうが。

事務局 「備品購入費」は文献図書等購入費だけではない。26年度に太陽望遠鏡を購入し、27年度に架台を購入する予定にしており、その差額が減っているものです。

委員 学芸員の仕事は膨大だと思っているので、研究環境を整えることができれば良いと考えて見ていると「少ないな」と感じる。

議題(2) 平成27年度事業予定について

◆平成27年度事業予定について、事務局栗山学芸担当長が協議会説明資料により説明。

委員 個人的には夏期特別展「古代生活実験室－実験考古学の試み－」にとっても興味があって、学生を是非連れてきたいと思う。教員を目指す学生にとって、こういうことはとても必要ですし、実はなかなか機会が多くない。

自由参加型の行事によって新たな利用者層を増やすということではいろいろやっており、世代交代も含めて考えていかなければいけないが、新しい会員の状況はどうか。

事務局 各サークルでの新入会員の動向として、劇的に増えるということはないが、コンスタントに何名かは入っている。完全に固定してしまうと動きも固まってしまう。毎年、定年退職される方もいます。年間会員制の行事ですと、月に1回から2回の活動があるので、毎回は参加できないという方も多いので、続けて参加しなくても良いような考え方もあります。

定年された方というのは分野による特徴でもある。分野によって活動の内容も違うので、分野によってはもっと年齢層の低いところをターゲットにすべき分野もあります。

昨年の動きの中で天文分野では会員の動きが活発になっている。これは「ほしぞら調査隊」もそうなのだが、「星を見る会」という自由参加行事と「天体観察会」という会員制行事とい

う構成がうまく機能している。「星を見る会」の参加者数がかかなり多く、ベースの部分が多いことで「天体観察会」に新陳代謝が生まれている。ただ、これは他の分野が学芸員 1 名で担当しているのに対して天文分野に人数がいるということが理由になっていると思うので、昨年の協議会でもご指摘頂いた「学芸員がやり切れるのか」という課題は解決できていない。引き続き検討していきたいと思います。

委員 公民館に行くと毎月「文化財ガイドボランティア」のお知らせを見るが、その申込みに博物館は入っていただろうか。博物館との関わりはどうなっているのか。

事務局 「文化財ガイドボランティア」は社会教育課文化財保護担当が創設し育成した団体で、現在も所管している。各種の資料を提供したり、育成にあたっての講座の講師を務めるなどの協力関係はあるが、博物館の活動というものではありません。

委員 各種普及行事の中で、生物関係の活性が低いような感じを受ける。いろいろなやり方があるだろうが、少しずつでも出していければ良いと思う。生き物というのは博物館の中ではそれなりのウェイトがあるはずですから。講習会でもいいですし、少しでも前に進んで頂きたい。秋の特別展で「相模川・酒匂川」とありますが、酒匂川が入るといろいろなチェックが入らないかなど。余計なことですが。平塚ですと相模川と金目川、それと比較するうえで酒匂川も出てくるのでしょうか、うまくやっていただけるといいと思います。

事務局 現時点で生物分野の行事予定が無いが、全く無いという状況では良くないと思っており、いくつか企画し、打診もしている。年度中には生物関係の行事も織り込んでいきたいと考えています。その際には委員にもご助力をお願いしたい。

秋期特別展について、もちろん平塚市博物館の根幹は相模川流域だが、地形という点を考えるとやはり酒匂川水系も含めて考える必要があるという意味です。ご指摘の点は全体のバランスを見て今後創っていくことになると思います。

議題 (3) 「春期特別展について」は他の議題終了後、特別展示室で説明

議題 (4) その他

◆事務局により次回日程の調整。次回は年度が替わるため、改めて調整することとした。

以上

当日配布資料

平塚市博物館 平成 26 年度秋期特別展「平塚の石仏—3058 の祈りと願い—」 開催報告

- 1 会期 : 平成 26 年 10 月 4 日 (土) ~11 月 30 日(日)
- 2 時間 : 9 時~17 時 (10/21~10/26 はイブニングミュージアム期間につき午後 7 時まで閉館)
- 3 会場 : 平塚市博物館特別展示室
- 4 主旨 : 博物館のサークル・石仏を調べる会は、昭和 56 年の発足から 30 年以上にわたり、平塚市内の信仰目的で建てられた石造物を調査している。会でくまなく調べ上げ、記録した現存する石造物の総数は 3058 基にのぼる。その集大成として開催した本特別展では、市内の主な石造物を写真パネルや実物で展示し、3058 基の石仏に込められた先人の思いを探った。
- 5 展示構成と展示資料
 - ◇ 展示構成
 - I 石造物の概要 II 仏教伝来の石仏 III 民間信仰の石仏 IV 寺社境内の石造物
 - V 石造物の変化 * 石仏年表 * VTR コーナー * 石仏を調べる会と『平塚の石仏』の歩み
 - ◇ 展示資料
 - 写真パネル 260 点、実物資料 20 点、石造物レプリカ 7 点
- 6 特別展関連行事
 - ◇ 記念講演会
 - 時間 : 13:30~15:30 会場 : 講堂 参加自由
 - ・ 10 月 12 日 (日) 講師 : 坂口和子氏 (日本石仏協会会長) 「石仏への誘 (いざな) い」
参加者 65 名
 - ・ 11 月 16 日 (日) 講師 : 小川直之氏 (國學院大学教授) 「石仏調査からわかること」
参加者 78 名
 - ◇ 「平塚の石仏を語る」
 - ・ 11 月 9 日 (日) 13:30~16:00 講堂 参加自由
 - 石仏を調べる会の会員および担当学芸員が平塚市の主な石仏について語った。
 - 石仏の見方・楽しみ方、データベースから見た平塚の石仏、お地藏さんのご利益と岩船地藏、平塚の庚申塔、平塚の道祖神、徳本行者とその名号塔 参加者 69 名
 - ◇ 石仏見学会 : 石仏を調べる会の会員が市内の主な石仏を案内・解説した。
 - ① 「須賀の石仏」 各回 はがき申込制 定員 20 名
 - ・ 10 月 18 日 (土) 9:30~15:00 場所 : 札幌町、千石河岸、高浜台 参加者 26 名 (会員含)
 - ② 「大山道周辺の石仏」
 - ・ 11 月 23 日 (日) 9:30~15:00 場所 : 南原、中原、豊田 参加者 45 名
 - ◇ 特別展示解説 各回 13:00~14:30 参加自由
 - ・ 10 月 26 日(日) 参加者 44 名
 - ・ 11 月 1 日(土) 参加者 14 名
 - ・ 11 月 29 日 (土) 参加者 17 名
 - ◇ 連続講話「石との語らい」 (イブニング・ミュージアム・ウィーク)
 - 特別展にちなみ「石」をテーマに学芸員が話をした。
 - 時間 : 午後 5 時 30 分~6 時 30 分 参加 : 自由
 - 会場 : 講堂 (10 月 26 日のみプラネタリウム室)
 - ・ 10 月 21 日 (火) 街の中の石材の利用 (担当 : 森) 参加者 14 名
 - ・ 10 月 22 日 (水) 石とコケー景色を彩る小さな緑ー (担当 : 松本) 参加者 6 名
 - ・ 10 月 23 日 (木) 石の遺跡ーグーグルアースの旅ー (担当 : 栗山) 参加者 15 名
 - ・ 10 月 24 日 (金) 3058 基の石仏年表 (担当 : 浜野) 参加者 17 名
 - ・ 10 月 25 日 (土) 平塚の石仏の石工と石材流通 (担当 : 早田) 参加者 15 名
 - ・ 10 月 26 日 (日) 太陽系のロゼッタストーン (担当 : 藤井) 参加者 25 名

7 印刷物

- ・図録 A4 判 64 頁 カラー 1000 部 頒布価格 ¥1000 (販売部数 361 部)
- ・ポスター B3 判 カラー 300 部
- ・リーフレット A4 判 カラー 1500 部+追加カラーコピー200 部、白黒コピー250 部

8 展示期間中入館者数(10 月 4 日～11 月 30 日)

	大人	こども	計	日数	こどもの割合	一日平均
10 月	3151	655	3806	24	17.2%	159
11 月	3699	1874	5573	27	33.6%	206
合計	6850	2529	9379	51	27.0%	184

<参考>

- ・25 年度秋期特別展「蔵出し！びっくりはてな資料展」
- ・24 年度秋期特別展「くらしの今昔－電気・ガス・水道がなかった頃の道具たち」

	大人	こども	計	日数	こどもの割合	一日平均
25 年度	5464	3147	8611	51	36.5%	169
24 年度	8508	4388	12896	57	34.0%	226

9 アンケート結果

- ・有効回答数 136 枚
- ・回答者の住所
平塚市内 89、平塚市外神奈川県内 32、神奈川県外関東地方 6、関東地方以外 5、海外 2
- ・回答者性別 男 77、女 56
- ・回答者年齢

～19 歳	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代～
25 名	3 名	9 名	17 名	13 名	31 名	27 名	9 名

- ・情報の入手先
広報ひらつか 54 名、博物館ホームページ 10 名、新聞等 7 名、ポスター12 名、その他 38 名
- ・おもしろさ

非常に おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや 物足りない	つまらない
83 名	27 名	10 名	4 名	6 名

- ・総合評価

とても良い	良い	ふつう	もう少し	良くない
83 名	31 名	7 名	5 名	4 名

- ・興味を持ったところ、感想など

- ・市民の方の手作りのところ。様々な石仏が全て見られたこと
- ・こんなにも沢山の石仏があったことにびっくり
- ・写真が good
- ・大変な事だと思いますが、見ていてとてもうれしく思いました。変な言い方ですが、石仏はだ～い好きです
- ・石仏といっても、こんなにも沢山の祈願や神仏、自然の感謝とかその暮らしぶりに願いが込められている事の壮大さに感謝、感服、凄いという事を教えて頂きました
- ・コウシン塔の意味がやっと解りました。石仏は、すばらしい。
- ・石仏よって庶民の願いが同感されすばらしい。
- ・現代人に観られない石像の顔の表情がよい、立派な企画であった。今後も続けて頂きたい。
- ・全般に興味があった。面白いというよりも、祈りの世界に入りそう
- ・普段は素通りしているであろう石仏に改めて恩恵を感じる展示である。文もよみやすく分かりやすい。
- ・まとめてくださった方々のご苦勞、ありがとうございます。

- ・写真だけでなく実物の石像が置いてあるのがよかった
- ・来るたびに新しい発見があります。これからもよろしくお願ひします。
- ・よくあつめ、よく調べました。ありがとうございました。
- ・写真がとても充実していただろきました。
- ・念仏講の映像が流れていて、私が小さい頃、おばあちゃんが「今日は、念仏に行くんだよ」と言って出かけ、帰ると必ず茶めしと煮豆を持ち帰り食べさせてくれました。昔のことでとても嬉しかったのを覚えています。
- ・平塚にも、こんなにいろいろな石仏などがあることを知り、実際に行って見てみたいと思いました。
- ・種類の多さ、地蔵に限らず、石仏と言う考え等、今まで見すごした事を見直しました。
- ・今の法治国家の国民として石仏信仰から脱却して、生きる力は自力の努力と公助面は、選挙投票による審判力で切り開き、国際的なリーダーになってもらいたい。そんなあなたのくらしの中にほほえむ石仏の前かけが風に波打つ光景を未来に想像する。
- ・石仏の概要、石材、石工、造立年代等勉強になった。実物もよかった。
- ・石仏の説明が非常にわかりやすいです。
- ・今後も石仏展の開催を望む
- ・よくこれだけのジャンル集められたこと驚嘆至極です
- ・平塚の石仏を調べるサークルと、それによる博物館での展示会、とても興味深く見れました。石仏を末長く、見守ってほしいですね。
- ・現在土屋におりますが、こんなに石仏があるとは思いませんでした
- ・出来れば、中級講座をお願いしたい。石仏調査グループの活動が盛んで当市もそのようにしたい。土屋、吉沢地区改訂版がまちどおしいです。年代が高いのは当然ですが、女性の参加が多かったです。
- ・小学校の教員をしています。子供向けの内容にするヒントとして考えられるものとして①2年生「かさこ地蔵」の中に六地蔵が出てくるので、そのあたりから入っていく。②高学年、特に6年の歴史でとりあげる。「わたしたちの平塚」に載せるなど小学校社会科教育研究会とタイアップするなど、いずれも言葉を簡単にしないとなかなか通じないと思います。
- ・仏像の表情の多様さと、庶民性、想像力の深さ、身近に多くあった事に興味を持ち、訪ね歩きたいと思いました。
- ・これだけの企画を成功させるには、多大の努力が必要だった事でしょう。又、新しい発見をされ、市民に見せて下さい。
- ・今まで何気なく見ていた石仏に興味を持って接するようになりました。
- ・どこからこんなにもあつめたのかというくらいいろいろなものがあってすごかったです。
- ・石仏がこんなにおもしろくて、いろいろ種類があることを知りました。一度では見たりないのでもう一度来たいです。
- ・おじぞう様がいっぱいいること
- ・平塚市内にこれ程の数の石仏があつて驚きました。1つ1つに意味があつて面白いです。
- ・なぜそこにあるのか知りたくなつた
- ・いろんなおじぞうさんがあつたのでびっくりしました。家の近くを歩く時は、まわりをみながらあるきたいです
- ・私の父親が平塚石仏を調べる会に入つてました。なつかしく思いじっくり拝見しました
- ・良くまとまつた大変に見ごたえのある展示会でした。実物の展示も迫力があり大変参考になりました。ボランティアの方々の長期に亘るご努力が形になって展示されることは素晴らしいと思います。ありがとうございました。
- ・石仏そのものだけでなく、背景にある講造立信仰集団にも触れている点が良かった。
- ・会の活動として、報告書刊行、展示会、関連事業開催などの多岐に亘る展示を行っているのが素晴らしい。今後も活動の成果を広く報告してほしい。山王権現のキャブが途中で（下部が）切れてしまつていると思う。荷物を預けられるロッカーがあると嬉しい。
- ・これからも石仏を見るのがたのしみです

- ・造立年代の中で、明治、大正となっているのになぜ江戸戦国とかにしないの。こうすれば何時代かすぐわかる。いまいち？
- ・素晴らしい展示。これだけの多量の石仏、石塔の写真、解説をていねいにしているのには、驚きと数多くの人々の熱意が感じられる。展示期間中、もう一度ジックリ見たい。
- ・とくべつてんじしつにおはかがなぜあったのですかなぜかわかりませんむずかしいだったので
- ・さすがプロの学芸員のおられる博物館ですね、見せる努力に拍手です。早速、自分の展示物に活用です。
- ・ときどきいい企画があり、楽しみにしています。何ごともすべてがヒットなわけではありませんが、地道な活動が遠まわしでも、大きな成果をもたらしますね。がんばって下さい。
- ・長年にわたり続けてこられた調査結果を堪能させていただきました。これからの活動も期待しています。
- ・同好会の方の詳細な御説明が、まとまっていて、把握しやすかった。大体わかったので良かった。石仏をみていて、こんなにいろんなことがあると思ひ、自分の無知を感じた。
- ・実像、写真等、具体性のある表示で訴える力が多い。有志の方々の研究とききました。心より敬意を表します。
- ・美術館はよく見学にきます。博物館があることを知り、初めて訪れました。秋の一回、よい散策ができました。ありがとうございます。
- ・藤沢には博物館も美術館もないので大変うらやましいですが博物館が多少狭いですね。
- ・数年前に石仏について調べたことがきっかけで興味をもちました。星座とも関連があることを知り、そこにも興味をもちました。
- ・すごく楽しかったです！2時間15分もじっくり見てしまいました。石仏は気にしていないだけで身の周りに多く存在し、私たちを見守ってくれている、というのが改めて感じました。私が調べた石仏もたくさんありましたが、それ以上にも多くの違った種類の石仏と、それにまつわる歴史や願いを感じ取ることができました。「平塚の石仏」は石仏の会員の1人の人が全て絵を描いているということにびっくりしました。石仏の会に入ったら私は最年少になるのでしょうか（笑）そしたらスケッチを担当したいです。ありがとうございました！
- ・知識のなかった石仏について理解を深めることができたので充実した時間を持つことができました。たまによくわからない言葉（専門用語のようなもの）が説明文にあったので家に帰り調べてみようと思います。ありがとうございました。
- ・お寺様に何う仕事をしていたのに漫然と（石仏に気づかなかった）していたのに後悔。石仏を伴った人、伝承してきた平塚の先人に敬意を表したいと思います。
- ・石仏にはほんとうにいろいろな種類があって、それを見るだけでも歴史が感じられ、面白かった。
- ・今では見られなくなってしまった石仏の写真を見て淋しい気持ちになりました。時代の流れとはいえ残していかななくてはならないものだと思います。
- ・きっと今まで通りすぎている所に自分が気付かない所で石仏は存在していたんだと思うともったいないことをしたと感じました。平塚に3058基もあるのに・・・広報で見て何気なく来てみましたが見ごたえがありました。ありがとうございました。
- ・たまたま祭にふらっと来て立ち寄りしました。時間が無いためざっと見ましたが、それだけでも勉強になりました。パンフ買います。
- ・石仏は少しこわかった。全体的に明るくしてほしい
- ・市内各所に必ず種類別の仏様が有ると思った。自分の住居近くの物に目が行ってしまう。
- ・図書館に来た時、何となく寄り道しましたが、長居してしまいました。先祖から今に至り、平穏な生活への思いが続いていることを実感しました。
- ・私たちの住んでいる地域にこのような歴史があることに関心を持った。
- ・最近、これだけの石仏を民俗的な面も含め長期間にわたって調査した展は見事な事なかった。

第 16 回博物館文化祭「サークル活動展示・発表」 結果報告

- 1：会期 平成 27 年（2015 年）2 月 1 日（日）～2 月 15 日（日）
 2：主催 平塚市博物館・博物館文化祭実行委員会（実行委員会 5 回開催）
 3：開催期間入館者（2 月 1 日～2 月 15 日）

	大人	こども	計	日数	こどもの割合	1 日平均
26 年度 (2015 年 2 月 1 日～2 月 15 日)	1702 人	651 人	2353 人	13 日	27.7%	181.0 人
25 年度 (2014 年 2 月 2 日～2 月 16 日)	1200 人	451 人	1651 人	13 日	27.3%	127.0 人
24 年度 (2013 年 1 月 27 日～2 月 11 日)	1744 人	773 人	2517 人	14 日	30.7%	179.8 人
23 年度 (2012 年 2 月 4 日～2 月 19 日)	2462 人	600 人	3062 人	14 日	19.6%	219.0 人
22 年度 (2010 年 10 月 9 日～11 月 7 日)	3379 人	2154 人	5533 人	29 日	38.9%	190.7 人

4：参加グループと参加内容

お囃子研究会	実演
神奈川キノコの会	展示、ポスター制作
聞き書きの会	展示、活動報告
相模川の生い立ちを探る会	展示、ポスター制作
植物誌調査会湘南ブロック	展示
石仏を調べる会	展示、活動報告、ポスター制作
展示解説ボランティアの会	展示、活動報告、実演
天体観察会	展示、活動報告、実演、ポスター制作
東国史跡踏査団	展示
民俗探訪会	展示、活動報告、ポスター制作
星まつりを調べる会	展示、ポスター制作

5. 関連行事

活動報告会

日時	2 月 8 日（日） 午後 1 時～3 時 30 分
会場	博物館講堂
発表	石仏を調べる会、展示解説ボランティア、聞き書きの会、 天体観察会、民俗探訪会
参加者	86 人

実演「初心者のための太鼓教室」（お囃子研究会）

内容	「印場」という曲を練習し、その成果を相模の家で発表した。
日時	2 月 7 日（土）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

- 場所 博物館 1 階「相模の家」、講堂
 参加者 40 人
- 実演「太陽黒点の観察」（天体観察会）
 内容 望遠鏡で太陽を投影して観察する予定だったが、悪天候のため中止した。
- 実演「クスノキ くすくす物語」（展示解説ボランティアの会）
 内容 展示解説ボランティアの会の展示について、解説した。
 日時・場所 土曜、日曜 特別展示室
 参加者 2 月 1 日 11 人 7 日 12 人、8 日 15 人、14 日 3 人、15 日 7 人

6. 印刷物

- パンフレット A5 18 頁 庁内印刷 400 部
 ポスター A3 庁内カラーコピー 300 部

7. 来場者アンケート結果 *回収枚数 17 枚

満足度	興味深い 53%	やや興味深い 29%	ふつう 12%	ややつまらない 6%	つまらない 0%
難しさ	わかり易い 41%	まあわかり易い 35%	ふつう 18%	少し難しい 6%	難しい 0%
総合	とても良い 47%	まあ良い 35%	ふつう 12%	もう少し 6%	よくない 0%

*ご意見・ご感想

- ・天体の写真はライトが光って見にくかった。太陽-恒星の名前を付けてほしい。
- ・星座絵の MAP が興味深かった。
- ・手書きの解説文は温かみがあってよかった。
- ・サークルの中で展示されなかったのは次回に期待したい。
- ・特別室が一杯になるよう次回を期待します。
- ・大山道周辺の石仏は順序よく解説されて分かり易かった。
- ・足下の星座の案内コーナーが一番好みでした。せっかくマップ作られたのですから、お客様にも配布したら良いのにと思いました。（自分も欲しいです／笑）
- ・解説が分かり易く説明してあって良かった。もっと足元を見ながら街を歩いてみます。
- ・良くまとめられている。
- ・分かり易かったです。
- ・石仏の研究が良かったです。
- ・たくさんの団体グループが活動していることが分かり、いい博物館なのだなとあらためて認識した。
- ・どれも大変興味深く、博物館に関わる市民の活動ってすごいと感心した。
- ・子どもには難しいと思います。
- ・いいんじゃないですか？
- ・どの会も見やすく良くまとめられ大変ためになりました。とくに聞き書きの会 1 年たらずでよくまとめご苦労を感じました。
- ・説明してくれる人がいるとよかったです。
- ・はじめてにおいをかいただけどみのおい（くすのきのこと）がはんばなかったです。

平成 27 年度 平塚市博物館 普及事業予定概要

平成 27 年 (2015) 3 月現在

展 示

平成 27 年度は、3 回の特別展と博物館文化祭～サークル活動展示・発表を実施します。夏期特別展「古代生活実験室～実験考古学の試み～」では、これまでの活動で培われた技術を多くの場面で利用できるようまとめるとともに、実験考古学や古代体験のポイントを考えます。秋期特別展「相模川・酒匂川ジオツアー（仮称）」では相模川水系、酒匂川水系の地形や景観を紹介しします。春期特別展「平塚の家康（仮称）」は、平塚市域に残る徳川家康の足跡や伝説を探ります。

特別展	夏期特別展「古代生活実験室～実験考古学の試み～」	2015 7/18～9/13
	秋期特別展「相模川・酒匂川ジオツアー（仮称）」	2015 10/17～11/29
	博物館文化祭～サークル活動展示・発表（詳細は実行委員会で決定）	2016 1月～2月
	春期特別展「平塚の家康（仮称）」	2016 3/19～5/8

新しく収集された資料の展示や、最近の調査研究活動で明らかにされた情報を紹介します。

寄贈品 コーナー	全分野	「3.11 東日本大震災写真展」	2015 3/5～5/10
	全分野	新着資料展	2015 5/13～6/7
	天文	「宇宙からの光」	2015 6/20～7/14
	歴史	「空襲・終戦 70 年 平塚空襲展」	2015 7/16～9/3
	実習	「実習生の展示」	2015 9/11～9/29
	天文	「系外惑星発見 20 年」	2015 10/1～10/29
	地質	「未定」	2015 10/31～11/26
	天文	「星まつり」	2015 11/28～12/24
	民俗	「お札」	2016 1/5～1/31
	民俗	「ひな祭り」	2016 2/3～3/3
	考古	「未定」	2016 3/5～3/30

プラネタリウム

天文のテーマと季節毎の星空の話題でお送りする一般投影を 7 番組と幼稚園を対象とした幼児投影を行います。また、学校を対象とした学習投影を水・木・金曜日午前に予約制で行なっています。

一般投影	一般向け投影「星空はタイムマシン」	～2015 4/5
	一般向け投影「消えた星座たち」	2015 4/11～2015 6/7
	一般向け投影「太陽と星の動き」	2015 6/20～2015 7/13
	一般向け投影「冥王星フライバイ（仮）」	2015 7/18～2015 8/30
	一般向け投影「異形の惑星たち」	2015 9/5～2015 11/1
	一般向け投影「フリートーク・プラネタリウム」	2015 11/7～2015 11/29
	一般向け投影「2016 年の天文現象」	2015 12/5～2016 1/31
	一般向け投影「星はすばる ～星の和名たち～」	2016 2/6～2016 4/3
幼児向け投影	「だれが おひさま かくしたの？」 親子ほしぞらタイム	2015 5/16～2015 7/12
季節投影	「いつもの星空」	
特別投影	「夕凧の街 桜の国」「星空と音楽のタベ」「バンデキャンプの夢」	

各種普及行事

この他にも様々な行事があります。詳しくは「広報ひらつか」や博物館ホームページ (<http://hirahaku.jp/>) をご覧ください。

自由参加 行事	歴史	平塚郷土史入門講座	
	民俗	ろばたばなし	
	考古	考古学入門講座	
	天文	星を見る会／スターウォッチング入門講座／天文連続講座／宇宙開発連続講座	
	全分野	こどもフェスタ	
イブニング・ミュージアム・ウィーク〔夏〕			未定
イブニング・ミュージアム・ウィーク〔秋〕			未定
申込制 行事	考古	体験学習「マイギリで火を起こそう」	2015 7/26
		体験学習「弓矢を作ろう」	2015 8/ 2
		体験学習「作って奏でる弥生の土笛」	2015 7/19～8/23
		体験学習「縄文土器でクッキング」	2015 8/29～9/ 6
	民俗	石仏見学会	2015 10/25
		体験学習「お飾りをつくろう」	2015 12/20
	地質	自然観察入門講座「貝化石を調べよう」	2015 7/23
		体験学習「地形模型を作ろう」	2015 8/19～8/20
	天文	みんなで調べよう「ひらつか星空調査隊」	2015 12月～
	プラネ	雑貨団シアトリカル・プラネタリウム／プラネタリウムコンサート	
会員制 行事	歴史	古文書講読会／地域史研究ゼミ／平塚の空襲と戦災を記録する会／裏打ちの会	
	民俗	お囃子研究会／石仏を調べる会／民俗探訪会／聞き書きの会	
	考古	古代生活実験室／東国史跡踏査団／平塚の古代を学ぶ会	
	地質	相模川の生い立ちを探る会／地質調査会／地球科学入門講座	
	天文	星まつりを調べる会／天体観察会	
	展示	展示解説ボランティアの会	

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2015 6/8～6/19
博物館実習	2015 9/2～9/10

* 都合により内容・日時が断りなく変更される場合がありますので、「あなたと博物館」「広報ひらつか」等でご確認下さい。